

主催 京都精華大学、ハワイ大学マノア校図書館、ハワイ大学マノア校日本研究センター

戦後直後の 歌舞伎検閲を通して 文化について考える

日米大学間ライブディスカッション in 東京

戦後日本が、米国の占領政策により政治・経済・教育において大きな変貌を遂げたことは、人々に広く認識されている。しかし「文化」に関しては、占領期に日本人がどのような環境で、どのような表現活動を行い、現在の基礎を築いたのか認識されているとはいえない。1945～1949年の日本では、GHQによって出版物や映画に加え、歌舞伎などの伝統演劇も検閲の対象となり、演劇全体で検閲された台本は10万近くになると推測されている。ハワイ出身の日系二世で検閲官であったスタンリー・カイザワ氏は、この歌舞伎検閲台本の一部と当時の写真をハワイの自宅に持ち帰り、その後50年以上の月日を経て、ハワイ大学マノア校に寄託することとなった。本資料を対象として、2016年から日米大学の連携により科学研究費助成事業「カイザワ歌舞伎コレクションデジタル化プロジェクト」が開始され、最終年度を迎えた。

近年、創造経済やソフトパワーといった言葉が世界で注目されているように、経済や外交に対する「文化」の影響力が重要視されている。戦後直後の歌舞伎検閲は、私たちに「文化」の力について何を提示してくれるのだろうか。異分野の研究者・専門家による講演の後に、日本と米国の会場をライブ中継して、参加者の方々と一緒に議論したい。

本テーマにご関心ある方のご参加を広くお待ちしております。

2018年10月6日(土) 10:00～12:00 (開場 9:30)
東京「京都アカデミアフォーラム in 丸の内」
東京都千代田区丸の内1-5-1 新丸の内ビルディング 10階

定員：60名(先着順) 参加費：無料

言語：日本語(同時通訳、英語も聴講可) 一部資料は英語のみ

対象：一般、研究者、学生、本テーマに関心のある方々

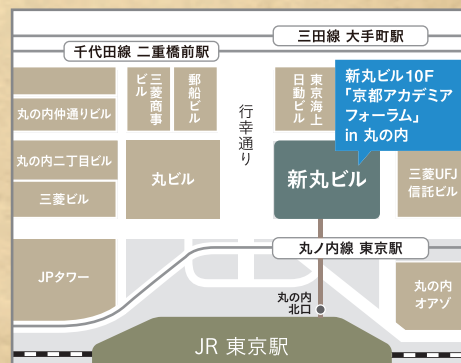
参加申込み

<https://goo.gl/forms/eKQbJrfNINvwcW082>

同時通訳用イヤホン準備の関係上、
10月1日(月)17時までに上記サイト
より参加をお申し込みください。
それ以降も、定員になるまで参加の
お申し込みはいただけます。

会場入口に関するご注意

シンポジウム当日は土曜日のため、
会場ビル入口は地下1階のスター
ボックス前のみとなります。



アクセス <http://www.kyoto-af.jp/access/>



登壇者

ジュリー・A・イエッツイー氏 Julie A. Iezzi
ハワイ大学マノア校舞台・舞踊学部教授

小泉真理子氏
京都精華大学マンガ学部准教授、全学研究センター長

バゼル山本登紀子氏
ハワイ大学マノア校図書館アジアコレクション部部長、同日本研究専門司書

司会

バゼル山本登紀子氏(米国会場)、上條由紀子氏(日本会場)

日米大学間ライブディスカッション in 東京 戦後直後の歌舞伎検閲を通して 文化について考える

定員：60名(先着順) 参加費：無料

言語：日本語(同時通訳、英語も聴講可) 一部資料は英語のみ

2018年10月6日(土) 10:00~12:00 (開場 9:30)

東京「京都アカデミアフォーラム in 丸の内」

東京都千代田区丸の内1-5-1 新丸の内ビルディング10階

<http://www.kyoto-af.jp/access/>

参加申込み 同時通訳用イヤホン準備の関係上、10月1日(月)17時までに参加を下記サイトよりお申し込みください。
それ以降も、定員になるまで参加のお申し込みはいただけます。

<https://goo.gl/forms/eKQbJrfNINvwcW082>

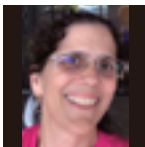


プログラム

- 10:00 ~ 開会のあいさつ モニカ・ゴーシュ(Monica Ghosh)氏(ハワイ大学マノア校図書館館長)
シンポジウム紹介 上條由紀子氏(慶應義塾大学大学院政策・メディア研究科特任准教授)
- 10:05 ~ 講演1 “The Stanley Kaizawa Collection: Behind-the-Scenes”
バゼル山本登紀子氏(ハワイ大学マノア校図書館アジアコレクション部部長)
- 10:15 ~ 講演2 「文化の力：米国による戦後の歌舞伎検閲から」
小泉真理子氏(京都精華大学マンガ学部准教授)
- 10:45 ~ 講演3 “Diving into the Kaizawa Collection: Anticipated and Unanticipated Paths of Exploration”
ジュリー・A・イエッツイー(Julie A. Iezzi)氏(ハワイ大学マノア校舞台・舞踊学部教授)
- 11:25 ~ 12:00 日米会場をつないで Q&A ディスカッション



登壇者



ジュリー・A・イエッツイー Julie A. Iezzi

ハワイ大学マノア校舞台・舞踊学部教授

ハワイ大学マノア校(博士(日本演劇)、修士(アジア演劇))、東京藝術大学大学院(音楽学(修士))修了。歌舞伎、狂言の翻訳・研究・演出を行うとともに、常盤津、長唄、三味線、狂言の公演も続けている。著書(共著)に、歌舞伎について“History of Japanese Theatre (ed. Jonah Salz, 2016, Cambridge University Press)”、狂言について“Asian Theatre Journal (spring 2007)”等がある。



小泉真理子

京都精華大学マンガ学部准教授、全学研究センター長

専門は文化経済学。日本の伝統文化から大衆文化までのビジネスと政策について研究。
東京大学大学院博士後期課程修了(博士(環境学))。三菱商事株式会社にビジネス企画、慶應義塾大学にて文化研究に従事した後、現職。カリフォルニア大学サンディエゴ校客員研究員、文化経済学会<日本>学会誌編集委員等を歴任。著書(共著)に“Culture Web”、“Video Games in East Asia”、“映像コンテンツ産業とフィルム政策”等がある。



バゼル山本登紀子

ハワイ大学マノア校図書館アジアコレクション部部長、
同日本研究専門司書

アメリカトリック大学(図書館情報学修士(MLS))、南イリノイ大学カーボンデール校(修士(Master of Arts))、東京女子大学(Bachelor of Arts)卒。
1999年より現職。
北米日本研究図書館資料調整協議会(NCC)議長(2007-2009)、アメリカン大学(American University of Washington, DC)ビジネス司書(1996-1998)、野村総合研究所(米国ワシントンD.C.)研究司書(1986-1996)を歴任。



上條由紀子 司会(日本側)

慶應義塾大学大学院政策・メディア研究科特任准教授、
特許業務法人太陽国際特許事務所 弁理士

専門は知的財産マネジメント。慶應義塾大学大学院理工学研究科博士課程前期(物質科学専攻)修了。慶應義塾大学デジタルメディア・コンテンツ統合研究機構専任講師、金沢工業大学大学院イノベーションマネジメント研究科准教授等を経て現職。総務省情報通信審議会委員、内閣府総合科学技術イノベーション会議重要課題専門調査会委員等を歴任。

問合せ：京都精華大学 科研費シンポジウム運営事務局 E-mail: seika.kakenhi@gmail.com

Photos: ハワイ大学マノア校図書館所蔵“Stanley Kaizawa Collection”より、表面背景(歌舞伎検閲脚本(英語版))、表面人物(スタンリー・カイザワ氏)、裏面左(日本劇場)、裏面中(相撲興行)、裏面右(東京駅舎)